白井市シティプロモーション基本方針策定
第３回市民座談会結果概要

平成２８年９月

目　次

I.　調査概要 2
　１．　目的 2
　２．　開催日時 2
　３．　参加対象 2
　４．　テーマ 2
II.　結果概要 3
　１．　市の PR について 3
　２．　白井駅前の活用 7
　３．　参考資料（当日配布資料） 8

I. 調査概要

１．目的

アンケートだけでは把握できない白井市民の市への愛着や誇りとその対象や、ライフスタイル、市の情報発信に関する意向等を座談会形式で把握することにより、白井市シティプロモーション基本方針策定への活用を図る。

２．開催日時

平成 28 年 9 月 10 日（土）10：00～12：00

３．参加対象

①白井市に在住・在勤・在学する 15 歳～49 歳の男女（9 名）
②白井市庁内ワーキンググループの参加者

４．テーマ

①市の PR について　市がやるべきこと/市民にできること
②白井駅前の活用方法について
その他、「フォトコンテスト in 白井」の選考に関して、投票を行った。

II. 結果概要

１．市の PR について

市を PR するために必要な具体的な手法等について、①市がもっとやるべきこと、②市民ができることの２点について、２グループに分かれて議論を行った。

（１）概要

①市がもっとやるべきこと

【方針】

これまでの取り組みだけではなく、もっと自由で柔軟な発想と取り組みが必要。また、市民をやる気にさせるような取り組みも行うべきである。

【具体的な事業例】

・白井駅～西白井駅間の未利用地域の活用
・梨を使った市外との連携イベント
・市外へ梨を贈る市民向けの補助事業

②市民ができること

【方針】

SNS など市民でも発信できる手段はある。市外の友人に梨を贈るなど、個人に直接訴えることもできる。また、イベントなどを活用して、市民の一体感を醸成することも必要。

【具体的な事業例】

・市民発のイベントの実施（増加）
・市民大使や市民記者の任命
・市民向けに白井市の魅力を発信

（２）グループ内の意見

１）A グループ

①市がもっとやるべきこと

・ SNS の活用（なし坊ツイッターなど）が必要。今のツイッターは行事の告知等をつぶやいているだけでおもしろくないからフォローを辞めた。
・ HP や広報紙ももっと魅力的にしないと駄目で、インパクトがない。前例にとらわれず、少し軽い気持ちで新たなことに取り組んでいかないと何も進まないし、変わらない。

・　PR は、鎌ケ谷市に負けている。内容は白井の方が勝っているのに、電車のラッピングや「ゆれにくいまち」など、白井よりも先を行っている。
・　梨をもっと推していくべき。他市町村、他県との味比べなどのイベントを開催するなど、連携の視点があると良い。
・　JRA など白井の大切な地域資源をもっと活用して、発信していくべき。
・　じねんじゃーも Facebook の仲間ではけっこう話題になっている。中身の人間が見えているのも他にはないウリ。
・　白井駅と西白井駅の２㎞の未利用地域の活用。国や県のほか、企業（京成）などと交渉をして、特急やスカイライナー利用者が、「なんだこの区間は」と思わせるようなことができれば、降りてくれる人が増える。
・　ポケモン GO（位置情報ゲーム）を何か活用できないか。
・　マイナスイメージやブラックユーモアを活用するなど、白井が今までやっていかなかったスタンスでの取り組みが必要。

②市民ができること

・　市は枠組みや場所を提供し、それをどう活用するかは市民次第。積極的にアイディアを持っている人は市を活用していく。
・　市や市民が主催するイベントには積極的に参加する。また、参加したときは、その状況などを SNS 等で友人、知人に発信して、市の PR を行う。
・　梨をもっと食べて、他県の人に送って、PR する。
・　住んでいる良さだけではなく、悪さも含めて市民の声で発信する。それにより、市外の人にもっと白井を知ってもらう。
・　座談会のようなイベントをきっかけに、何か自分たちでイベントを企画して、最終的な実行まで行うことで、一体感が生まれる。何でもまずは取り組む姿勢が重要。

２）B グループ

①市がもっとやるべきこと

・　広報は新聞を購読している人、HP は関心があって見に行く人でないと情報収集できない。若い人向けなら若い人が集まる場所で、自然と目に付くような方法で情報発信をしなければならない。
・　HP がやや使い勝手が悪く、見たい情報が分からない。また、更新頻度をもっと高めたり、普段あまり目立たないような情報もトップに持ってきたりするなど工夫が必要。

・　シティプロモーションを推進したいならば、その姿勢をもっと市民に見せるべき。それによって、市民との協働が進むのではないか。
・　印旛地域以外での市の認知度は非常に低い。梨やなし坊を活用してまずは皆に知ってもらうことから始めるべき。
・　市外の人に来てもらうにはイベントが重要だが、イベントの市外への宣伝が足りていないように感じる。
・　銚子駅には、駅前で地元を PR するコンシェルジュのようなシニア人材がいた。白井市は観光地ではないので難しいとは思うが、駅前センター等に高齢者が集まる場所を設け、交流を生みつつ、市外の人が来たときには案内もしてもらう人がいると良いのではないか。
・　イベントが各種行われているが、例えばバブルランなど、若者にターゲットを絞った話題性のあるイベントも必要だ。
・　キャラクターもなし坊だけではなく、例えば、ふなっしーとの連携など、他市・他キャラとのコラボも考えて欲しい。
・　市の HP には、公的なイベントや行事だけではなく、民間主催のイベントや活動も取り上げて欲しい。
・　駅梨（駅前での梨販売）を行っているが、白井駅で降りた人しか気づかない。費用はかかると思うが、渋谷の街頭ビジョンで映像を流しつつ梨を売ったり、ラッピング電車内で梨を売ったり、梨の販売と PR を兼ねられると良い。
・　市民が、市外の人に梨を贈る際に、友達割引など優遇をつけられると良い。
・　市民が PR 活動することの重要性はあるが、それを応援するような市の取組は必要。例えば、フォトコンテスもせっかく作品が集まっているので、プロによる講評会や撮影方法の勉強会などができれば、もっと市民もやる気になるのではないか。

②市民ができること

・　SNS の発信力は大きい。継続して発信し続けることが大切。市では発信しづらい具体的な声が届けられれば良い。
・　ふるさと大使でホリ氏等のタレントが選ばれているが、例えば市民を任命して発信してもらうのも良いのではないか。
・　フォトコンテストの作品を見ても、まだまだ市民が知らない白井市の側面がある。これを市民が知っていくことも必要だろう。そうすれば、市民が個々に SNS・口コミで発信してくれる。
・　個人的に、県外の友人らに梨を贈答している。SNS の拡散性は高いが、

個人に直接贈ることはより濃密なPRになる。また、梨と一緒に勝手に「PR大使に任命します」と文章を添えており、周囲に梨を配ってもらえるように、多めに贈っている。

- 梨を使って誘導することは良いこと。梨を贈るのも良いが、友人を呼ぶなど、個人的なつながりを使って、実際に来てもらうことも重要。
- 美味しいものや店などの情報を発信するのは市民にもできるし、面白い取組みだと思う。

２．白井駅前の活用

白井駅前の「梨の泉」の在り方等を含め、白井駅前に必要なもの・機能について、２グループで議論を行った。

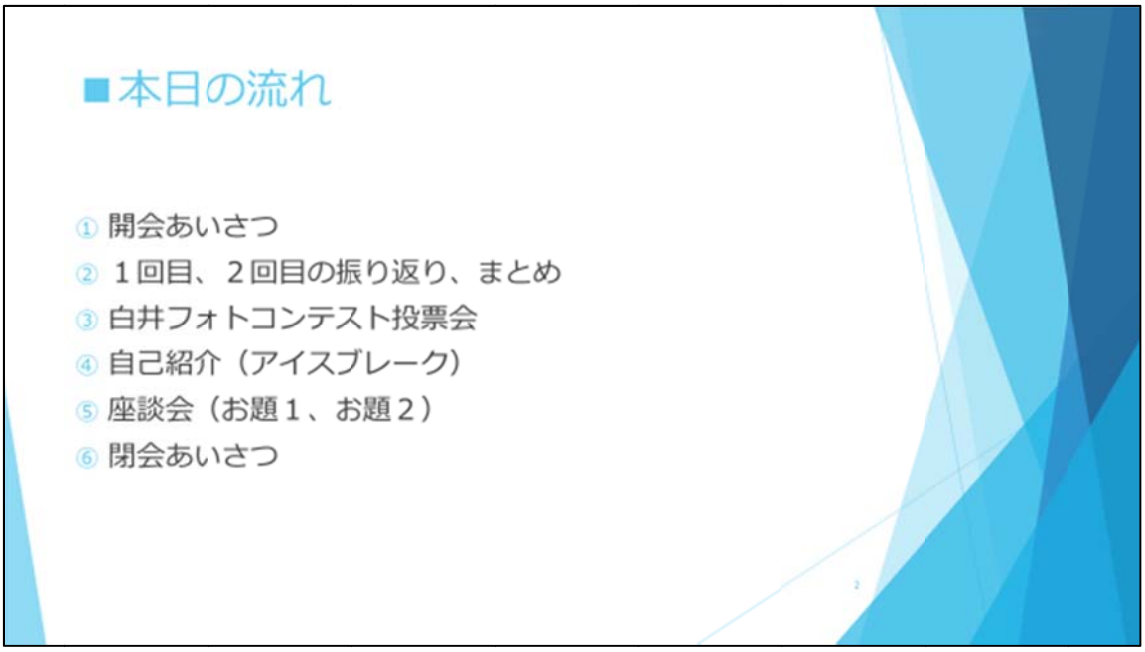
（１）Ａグループ

・ 白井キャンパス（自由に絵が描ける場所）。または、デジタルの情報掲示板をもうけて、市民の絵や作品を紹介する場所にしてはどうか。
・ ポケモン GO のポケストップ（位置情報ゲーム上でポイント等が得られる場所）なので、市の情報を発信する形で利用する。
・ 市民でも知らない人が多いので、もっと高さを出して、目印として集合場所となるようにする。
・ BIGHOP にある噴水のように、下から水が定期的に出るスポットにして涼が取れる場所とすれば子どもが遊び、親もくつろげる。
・ 現在は段差があり、夏祭りやホワイトフェスティバルの際に利用しづらいので、いっそ段差をなくし、フラットにすることでイベントスペースとして利用しやすくなる。また、移動販売のワゴンなどが入りやすくなり、賑わいにつながる。
・ 財政上、難しいかもしれないが、噴水として復活できないか。駅前に梨をかたどった噴水があれば、シンボルには最適だと思う。

（２）Ｂグループ

・ 駅前は日陰が少なく、リラックスできる場所がない。日よけになる東屋のような簡易な建物とベンチがあると良い。
・ ベンチと日よけ・雨よけがあれば、あとはフリースペースとしての使い方が良いだろう。土日のイベントスペースや屋台・フリーマーケットの実施など、新しい賑わいの創出につながるのではないか。
・ 今の形状を生かして、花壇として使うのはどうか。憩いの場にもなるし、花を植えること自体をイベントにしても良い。
・ たまに、なし坊やじねんじゃーなどのキャラクターが出没するなど、話題を生み出す場所にしてはどうか。
・ 昔は噴水として活用されており、個人的には思い出もある。最後に１日だけでも噴水として復活できないか。
・ 最近は外でゲームをしている子ども達も目立つ。そうした子ども達が集まれる場所になって欲しい。

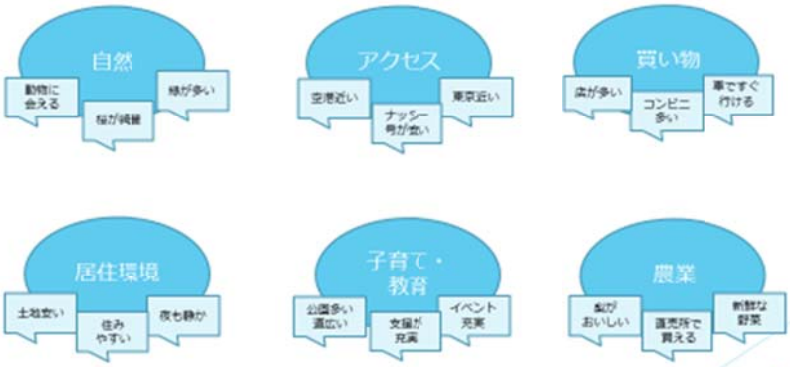
３．参考資料（当日配布資料）



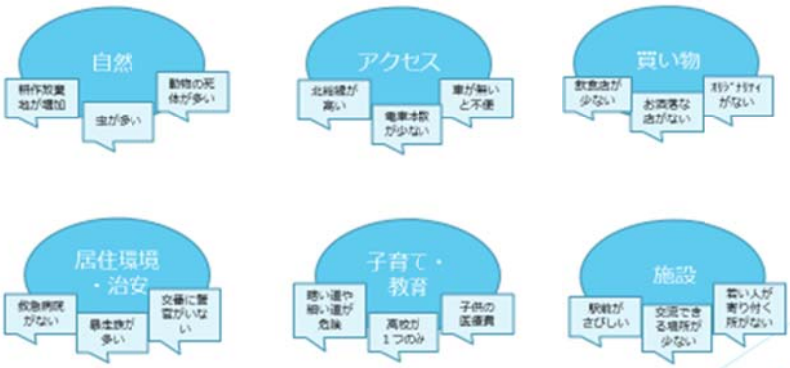
■第１回市民座談会

①白井市の良いところ・好きなところ
②白井市の悪いところ・嫌いなところ
③情報収集・発信について

■第１回の振り返り①
白井市の良いところ・好きなところ



■第１回の振り返り②
白井市の悪いところ・嫌いなところ



■第２回の振り返り①
白井市のセールスポイント

	白井市のセールスポイント（３つ）	概要
Aグループ	アクセスが良い	・鉄道を中心とした都心アクセス　・近隣商業施設への車でのアクセス ・成田・羽田両空港へのアクセス
	自然が豊か	・星空が見える ・清らかな水があり、それによって美味しい梨ができる
	豊かな街並み	・ニュータウンとして街路が整備されている　・公園が多い　・地域コミュニティ豊か ・災害が少ない　・それにも関わらず家賃や土地代も安価
Bグループ	アクセス性が良い	・電車、車でどこにでも行ける ・市内だけでなく、近隣市町村も行きやすい
	公園、自然が豊富	・さまざまな公園があり、子供を遊ばせられる　・都心に近い割に緑が多い ・今井の桜などの桜並木　・農産物直売所があり、新鮮な野菜や果物が手に入る
	地域での助け合い体制	・地域のイベントが多い　・ママ友のつながりが強く、お互い子供の預かりも ・ふるさと祭り等のイベントでコミュニティが形成できている
Cグループ	安心・安全で理想の間取りを	・災害が少なく、道路がないなど安全な暮らしができ、終の棲家になる ・都心では難しい理想の間取りや庭付き住居が予算内でできる
	子供を生みやすい・育てやすいまち	・上記に関連して、子供を産み育てる人にも安心・安全なまち ・待機児童ゼロ達成
	都会と田舎の融合	・市内及び近接市町に大型商業施設等が豊富 ・市内には里山風景も広がり、都会と田舎が両方味わえる

■第２回の振り返り②
白井市のキャッチフレーズ

	白井市のキャッチフレーズ案	フレーズに込めた要素
Aグループ	静かに眠れるスリープタウン	都心へのアクセス、閑静な住環境
	元気に目覚めるウェイクアップタウン	都心へのアクセス、閑静な住環境
	白いキャンバスに自由に描ける未来絵図創造都市	「白」井という名前、理想の生活の実現
	幸水あふれるおもてなし（梨）タウン	梨、幸水という名前の良さ、おもてなし
Bグループ	庭付き一戸建が夢じゃないまち　～梨語らずして白井なし～	地価の安さ、理想の生活の実現、梨
	みんなで描く白井キャンバスシティ	「白」井という名前、コミュニティ形成
	認知度なし（梨）のまち　しろい	認知度の低さ、自虐
	快適・快速・快心	都心へのアクセス、住み心地の良さ
	のびのび子育てできるまち	子育て環境
Cグループ	夢が描ける、まっしろい市	「白」井という名前、理想の生活の実現
	あなたの色に染めるまち　しろい	「白」井という名前、理想の生活の実現
	知名度ゼロ！　しろい	認知度の低さ、自虐
	神々がめぐるまち　しろい	七福神信仰、神々廻という地名

お題に入る前に･･･

『フォトコンテスト IN 白井』　選考・投票のお願い

今年３月～８月にかけて、「フォトコンテスト」を開催したところ、
50作品も応募をいただきました。
そこで、皆さんにも、その選考にご協力いただきたいと思います。

作品をご覧いただいた上で、良いと思う作品の番号を、
お手元の投票用紙に、１位・２位・３位まで書いて投票してください。

＜審査の基準＞

★白井らしさがあって、みんなに教えたいと思えるような、
街並み、暮らし、場所、風景、人々　　････など

■本日のお題１
どうやって市をＰＲしていくか？

これまでも、白井市のＰＲを行ってきましたが、
必ずしもうまくいっていたとは限りません。
⇒そこで、
①市がもっとやるべきこと
②市民の皆さんができること
の２つを考えてみましょう。

例えば・・・
- ◆こんな方法があるんじゃないか
- ◆ここでＰＲすれば皆が見てくれる
- ◆市がこうしてくれれば、自分たちも協力できそう
- ◆○○市のＰＲはよくみる、こんなやり方が上手い！

など、ご自由に。

■本日のお題１
どうやって市をＰＲしていくか？

～白井市の新たな取組み【予定】～

白井市では、「なし坊サポーターズ」という、市と市民が協力して、
市の魅力を発信していこうと考えております。
主な活動はＳＮＳを中心に行っていく予定ですが、
「もし、皆さんがなし坊サポーターズなら」
やってみたい・やるべきことなども、お考えを聞かせてください。

■本日のお題１
どうやって市をＰＲしていくか？【例①】

～松戸市の事例～

松戸市の暮らしのサイト、「まつどやさしい暮らしラボ」では、老若男女の市民記者を22名任命し、松戸のイベント・スポット・お店・暮らしなどの紹介記事作成を依頼しています。

■本日のお題１
どうやって市をＰＲしていくか？【例②】

～鎌ケ谷市の事例～

鎌ケ谷市は、梨の出荷シーズンに合わせ、北総鉄道にラッピング電車を導入しました。梨だけでなく、市の移住ＰＲにも活用しています。
（8/10から１ヶ月）

■本日のお題１
どうやって市をＰＲしていくか？

①市がもっとやるべきこと

②市民の皆さんができること

■本日のお題２
白井駅前にあるべきものは？

■本日のお題２
白井駅前にあるべきものは？

■白井駅南口にある「梨の泉」

壊れて回らなくなり、再開できないままになっています。

⇒このスペースが遊んでいるのはもったいない！
駅前にあると良いものは何か、考えてみましょう。
自分たちならこう使いたい！等でも構いません。

※市の予算には限りがありますので、
あまりお金のかかることはできません！
※今のところ、梨の泉の「梨」（丸い石）部分は残す予定です。

■本日のお題２
白井駅前にあるべきものとは？

①欲しいもの・使い方【実現可能かは問いません】

②あったら良いもの・良い使い方【実現可能そうなもの】